

**絆——奉仕の感動を分かち合おう。**

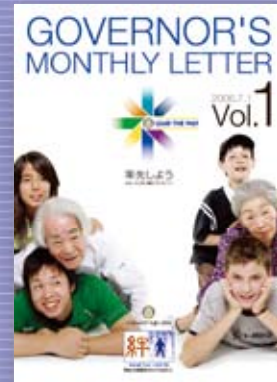
月日の流れは早いもので、私がガバナーに就任しましてより、一年が経とうとしています。おかげさまで無事に任期を終えることができそうです。地区内96クラブの会長、幹事、全ロータリアンの皆様、縁ありまして皆様と一緒に一年間奉仕活動をできましたことに心から感謝しております。ありがとうございました。振り返りますと、毎月の「強調月間」につきましてはそれぞれの委員長さんの執筆にお任せして、この欄で私はロータリーの絆についてお話ししてまいりました。ですから、最後までやはり「絆——奉仕の感動を分かち合おう。」がテーマです。

格差社会と言われて久しいですが、市場原理にもとづいた今日のような競争社会では、効率化、合理化が追求されるあまり、家庭、学校、社会の中で人としての基本的な心の面の強化・向上がおろそかとなってまいります。正義感、家族愛、隣人愛、祖国愛はもとより他人へのおもいやり、きめこまかな配慮、よろこびを分かち合う気持ちが希薄になってまいります。自然や美に対する感覚や、やさしさの心がなおざりにされつつあります。その危惧が、私のテーマ「絆」の発露であります。予測不可能な今日の社会情勢に立ち向かうべき課題は常に山積しております。社会が個々のロータリアンの力を必要としているのです。それは、私たちの組織がもつ多様性こそが私たちの強みの源であるからです。我が96クラブのそれぞれが実に個性的な活動をされています。今その個性が活きる時代です。地域社会のニーズと、それらに対応する私たちのパワーがある限り生きた貢献ができます。皆さまをお願いします。より良きロータリー、そして、より良き地域社会を築くため、人と人の絆、地域の皆様との絆を大切に、誇り高いロータリアンとして変わることのない誠実さ、他人に対する寛容の精神で、ぜひ地域社会のリーダーになってください。

最後になりましたが、この一年間、本当にお世話になり有難うございました。会員とご家族の皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、強い絆で結ばれたロータリーの発展を願い、ガバナーメッセージ最終回のご挨拶といたします。



国際ロータリー第2650地区  
ガバナー **平井 義久**



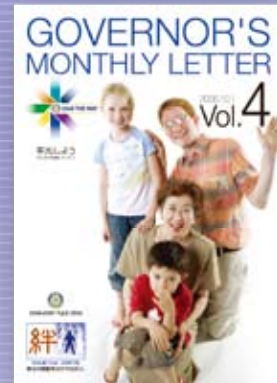
2006.7.1



2006.8.1



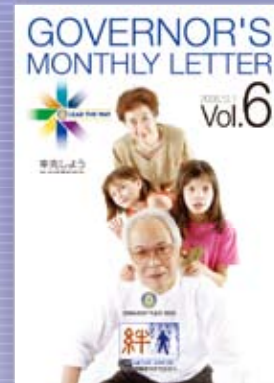
2006.9.1



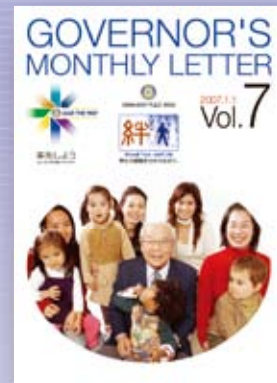
2006.10.1



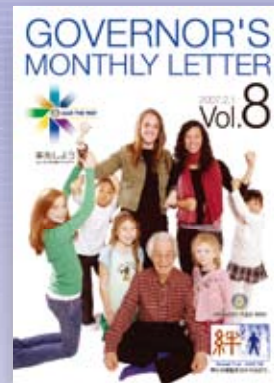
2006.11.1



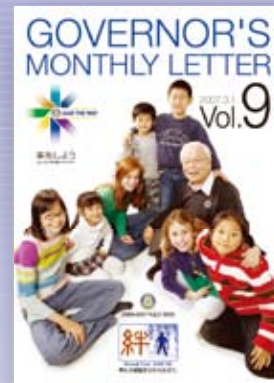
2006.12.1



2007.1.1



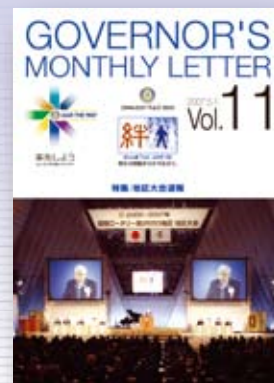
2007.2.1



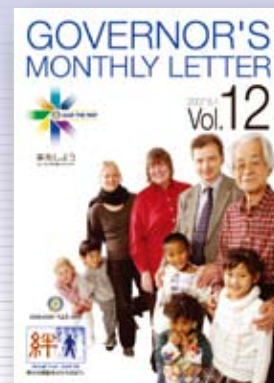
2007.3.1



2007.4.1



2007.5.1



本日2007.6.1  
最終号をお届けします。  
1年間のご愛読、  
ありがとうございました。